

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	教育委員会
	課名	ゆうき図書館
	係名	企画管理係・サービス係
	記入者	小張 浩
	電話(内線)	34-0150

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続	(2) 事務事業 の名称	計画 予算	図書等整備事業	(3) 事業の 優先度	A
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体	市	
① 事業の区分	一般事業			(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)
② 施策コード	42203	(総合計画掲載ページ 107 ページ)			会計区分	一般会計
基本目標(政策)	4 未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文化)				財源区分	市単独
基本施策	2 生涯を通じてともに学べる環境づくり(生涯学習・地域教育・青少年の健全育成)				予算科目	款 10 項 5 目 5
施策	地域教育体制の充実				予算書上の 事業名称	図書等整備事業費 (予算書 169 ページに掲載)
施策内容	図書館サービスの充実					
(5) 事業期間	開始 平成 16 年 5 月から 終了 年 月まで (力年)			(8) 事務分類	自治事務	
				根拠法令	図書館法	

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象者(だれを・何を)	結城市民及び図書館利用者	(3) 事業内容(具体的に何をを行うのか、そのために何をを行うのか)	図書館の運営基本である資料・情報の収集、整備、提供、保存、レファレンスサービス、多様な学習機会の提供、ボランティアの参加促進などの図書館サービスを行う。特に、情報技術関連資料、行政資料、郷土資料(結城紬・染色関連資料等)の充実と多様な分野の雑誌の収集・永久保存を行っている。
(2) めざす姿(どのような状態にしたいのか・意図)	読書活動をより一層推進するとともに、地域の情報化や教養・文化の向上を図る	<p>■ 事業の全体計画(※計画等がある場合、H24年度末時点で記入)</p> <p>・ 総事業費 千円 ・ 進捗率 %</p>	
(4) 事業開始のきっかけや市民・議会の要望や意見、他市の状況など(※1-(8)事務分類 法定受託の場合は、記入必要なし)			
市民の要望や図書館法並びに結城市図書館基本計画書により設置された。			

3. 事業コスト及び改善措置

行政評価	実績内容の評価	検討・改善	検討・改善内容を反映
実施計画			
● 予算内訳	実績・決算額(千円)	予算額(千円)	計画額・見込額(千円)
	24 年度	25 年度	26 年度 27 年度 28 年度
事業内容			
事業費			
需用費	3,687	3,994	3,994 3,994 3,994
委託料	4,974	7,300	7,300 7,300 7,300
備品購入費	20,000	20,000	20,000 20,000 20,000
合計	28,661	31,294	31,294 31,294 31,294
財源			
国庫支出金(千円)			
県支出金(千円)			
地方債(千円)			
その他特定財源(千円)			
一般財源(千円)	28,661	31,294	31,294 31,294 31,294
合計(千円)	28,661	31,294	31,294 31,294 31,294
補助・起債制度名			

(2) 平成25年度以降の改善・改革点(※ 記入の必要なし)

地域図書館整備事業の実施に関し、検討する。

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）		指標の名称	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
(1) 活動指標（実施した事業の内容）								
実施内容	蔵書の充実	目標値	点		230,000	240,000	250,000	260,000
		実績(見込)値		221,934	230,000			
		目標値	回					
		実績(見込)値						
(2) 成果指標（事業実施による施策指標の達成度）								
施策の指標	年間貸出資料数	目標値	人		180,000	181,000	182,000	183,000
		実績(見込)値		174,703	175,000			
		達成率		95.5 %	95.6 %			
	来館者数	目標値	人		168,000	169,000	170,000	171,000
		実績(見込)値		168,147	166,000			
		達成率		98.3 %	97.1 %			

5. 事業評価			
(1) 平成24年度の行政評価結果をうけて、平成24年度に取り組んだ改革改善点について記載してください。			
行政資料を初めとした多様な資料の寄贈依頼を行い、蔵書の充実を図った。 地域図書館整備事業に関し、江川出張所、山川文化会館の貸し出し用図書の状態把握のための視察を行った。			
(2) 項目別評価			
評価項目	評価の指標	客観的評価点及び評価理由	
1. 目的妥当性	①事業の必要性、緊急度は高いですか？	5	ますます必要性は高くなっている(または、緊急性が極めて高い)
	②行政が実施すべき事業ですか？	4	法的な問題などがあり、行政がやるべき事業である
	③受益者が特定の個人や団体に偏っていませんか？	5	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない
14	A	補足	
2. 効率性	④事業の手段(やり方)は適切ですか？	4	現在のやり方が一般的であり、特に問題はない
	⑤コスト効率、人員効率は高まっていますか？	4	効率は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている)
8	A	補足	
3. 有効性	⑥活動指標、成果指標は達成されていますか？(指標達成度)	4	概ね目標水準に達している
	⑦事業の成果の進捗は順調ですか？(進捗度)	4	計画どおり、順調に進んでいる
	⑧事業のめざす姿は基本施策の目標達成に貢献できますか？(貢献度)	4	基本施策への効果が高まる、または基本施策の効率化が図れる
12	A	補足	
4. 総合評価	事業全体について評価し、問題点、課題等を指摘してください。 来館者の減少に比例して貸し出し資料数も減少しており、利用者にとって魅力ある資料の選書や企画を実施していく必要がある。		
34 / 40 [5×8項目]			
5. 対応策・提言等	この事業をどのように改善・改革をしていきますか？		
	平成25年度 [事業実施段階 における改善点]	行政資料を始め多様な資料の寄贈依頼を行うとともに、利用者にとって魅力ある資料の収集に努める。	
	平成26～28年度 [今後の事業見込 による改善点や 改革点]	地域図書館整備事業の実施に関し、検討する。	

6. 事業の方向性判断		
評価主体	25年度以降の事業の方向性	評価理由・根拠
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	注)記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う	改善・改革しながら継続(成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減)	公共図書館は、利用者の求める資料や情報を提供することをサービスの基本としており、図書館の利用促進を図るために、アンケートなどによる利用者ニーズの把握に努めるとともに、充実した蔵書構成やPRなどに取り組むこと。
(3) 最終評価 企画調整会議において 評価を行う		上記評価のとおり